

県民健康調査「甲状腺検査」の実施に係る取組みについて

1 検査のメリット・デメリットについての周知

甲状腺検査の実施にあたっては、検査のメリット・デメリットを理解したうえで検査の受診の可否を決定してもらうことが重要であるため、以下のとおり周知を図っている。

(1) 甲状腺検査のお知らせ

福島県「県民健康調査」検討委員会および甲状腺検査評価部会における議論を踏まえ、令和2年度から甲状腺検査のお知らせ文を改正するとともに、「検査のメリット・デメリット」の冊子（小学生用及び中学生用の説明文書を含む）を同封している。

(2) ホームページでの周知

「検査のメリット・デメリット」のページにおいて冊子（PDF）や動画で内容を確認できるようにしている。

(3) 甲状腺通信（※）での周知

甲状腺通信において、甲状腺検査が任意の検査であること、検査にはメリット・デメリットがあることなどについての記事を掲載している。

※4 情報発信（2）甲状腺通信に後述。

(4) 出前授業での説明

講師（医師）が甲状腺の働きや甲状腺検査の概要とともに、検査のメリット・デメリットについても分かりやすく説明している。

(5) 解説動画（アニメーション）の活用

甲状腺検査の経緯と目的、受診方法及び検査のメリット・デメリットやサポート体制などをわかりやすく説明した解説動画（アニメーション）を出前授業に取り入れたり甲状腺検査一般会場で放映するなど、あらゆる機会を活用し周知に努めている。

(6) その他

福島県立医科大学主催イベント及び県政情報番組等で周知を行っている。

① 「いきいき健康フォーラム」での周知

検査のメリット・デメリットに関するパネル展示及び解説動画（アニメーション）の放映を実施した。

② 県政広報番組の活用

県政広報番組で甲状腺検査の概要及び検査のメリット・デメリットについて説明し、理解したうえで受診の可否を決定して欲しい旨を伝えた。（福島テレビ：サタふく「ふくしま調査隊」令和4年6月18日放送）

2 支援体制

(1) 医学専用ダイヤル

平成 23 年度の検査開始当初より設置していた一般的な電話相談に対応するコールセンターに加え、平成 28 年度から甲状腺検査の結果や甲状腺に関する病気などの医学的な質問等に対応するために設置している。

(2) 一次検査のサポート

正式な検査結果が届く（2～3ヶ月後）までの不安解消のため、公共施設等の一般会場では、検査終了後検査結果説明ブースにおいて医師が超音波画像を見ながら暫定的な説明を平成 27 年度から実施している。

また、検査の意義や検査結果の理解を支援するため、全受診者に甲状腺の結節やのう胞の説明及び二次検査の説明等を記載したリーフレットを配付している。

(3) 二次検査のサポート

福島県立医科大学内に公認心理師、看護師からなるサポートチームを平成 25 年度に立ち上げ、二次検査受診者に対して心配や不安へのサポートを行うとともに、web 相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

(4) 甲状腺検査のサポート事業（福島県事業）

福島県では平成 27 年度から、甲状腺検査後に生じた医療費等の経済的負担に対して支援（支援金交付）を行うとともに、支援金申請時に提供していただく保険診療に係る診療情報を県民健康調査の基礎資料として活用し、将来にわたる県民の健康維持と増進を図っている。

3 検査実施機関への支援及び検査者育成の取組み

(1) 検査実施機関への情報提供

① 福島県内検査実施機関連絡協議会（福島県内）

甲状腺検査の情報共有と検査精度向上を図るため、福島県内の検査実施機関を対象として甲状腺検査の実施状況の報告及び意見交換等を行っている。

② 甲状腺検査県外検査実施機関連絡調整会議（福島県外・環境省事業）

福島県外検査実施機関における甲状腺検査の理解の促進を図るため、甲状腺検査に関する最新の状況の報告や意見交換等を行っている。

(2) 二次検査実施機関へのサポート（環境省事業）

福島県外の二次検査実施機関でのこころのサポートを支援するため、こころのサポート研修会及びスキルアップ研修会を開催している。

(3) 福島県内における検査者の育成

① 人材育成研修（環境省事業）

講習会、実技研修（基礎・応用編）、スキルアップ研修を開催している。

- ② 資格更新研修（環境省事業）
更新講習会、更新実技研修会を開催している。
- ③ 実技演習ワークショップの開催
資格認定試験合格後の医師及び技師（初回のみ）を対象に、講義と実技を組み合わせた技術講習会を開催している。

4 情報発信

（1）ホームページ

対象者向けのホームページでは、甲状腺検査の概要や検査の流れ、検査のメリット・デメリットなどの一般的な情報のほか、検査スケジュールや検査実施機関などの最新の情報を掲載している。

（2）甲状腺通信

甲状腺検査における様々な情報をお知らせするため、平成 24 年度から「甲状腺通信」を発行し、検査対象者全員に郵送で送付している。

（3）出前授業及び出張説明会

- ①対象者 出前授業：福島県内の小・中・高校及び特別支援学校に通う児童・生徒
出張説明会：福島県内の小・中・高校及び特別支援学校に通う児童・生徒の保護者及び教職員など
- ②内 容 講師（医師）が甲状腺の働きや甲状腺検査の概要とともに、検査のメリット・デメリットについても分かりやすく説明している。

（4）福島県内の高校卒業見込者に対する広報物

卒業後、地元を離れる方が多くなる福島県内の高校 3 年生等を対象に、検査の目的と意義、今後の検査の受診方法や検査のメリット・デメリット等について分かりやすく記載した広報物を平成 27 年度から配付している。

（5）その他の情報発信

- ① 公式 X（旧 T w i t t e r）アカウントによる情報発信
令和 5 年度に公式 X アカウントを開設し、甲状腺検査を含む県民健康調査の実施に関すること、本調査から得られた知見などについて発信している。
- ② 県民公開講座
県民健康調査の成果や知見等について県民に分かりやすく伝えるとともに、その成果を健康の維持・増進に役立てるため、令和 6 年 1 月にオンラインで開催した。
【甲状腺検査に関するもの】「甲状腺検査ってなに？」（令和 6 年 1 月 15 日開催）
- ③ 国際シンポジウム
県民健康調査の最新情報及び得られた科学的知見を国内外に発信するため、平成 30 年度から実施している。